



みんなで伸ばそう!「ふるさと佐賀」の子どもたち

令和5年度

# 子ども・若者育成支援 県民大会

次代を担う子ども・若者が、心豊かでたくましく成長できるよう、すべての大人が子ども・若者育成支援運動や非行防止に強力に取り組み、併せて子ども・若者育成支援指導者等の学びの場として、これからの活動に活かしていくことを目的としています。

【日 時】

令和5年

11月23日(木・祝)  
13:30~16:00

【会 場】

多久市中央公民館

(多久市 北多久町 大字小侍 7番地1 ☎0952-74-3241)

【主な内容】

- ◆ 功 労 者 表 彰
- ◆ 記 念 口 演
- ◆ 大 会 宣 言

※ このほか、多久市の子どもたちによる発表やパフォーマンスなどを予定しています。

【記念口演】

## 「子どもの成長は 親の元気」



【講師】 鷹取屋神社宮司 矢野 大和 氏  
やの たいわ

昭和 31 年 7 月 7 日生まれ。大分県佐伯市宇目町出身。鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれ、現、神職。宇目町役場(現：佐伯市宇目振興局)に就職し長きにわたり生涯学習の仕事に携わる。平成 7 年、宇目町に完成した道の駅「うめ」の初代店長を任命され、イノシシラーメンを考案し、黒字経営(5年間で2億円宇目町に寄附の基礎を作った)。平成 13 年 4 月には、「職場に来なくて良い役場職員」として役場を飛び出し、営業を中心とする観光大使となり口演活動が仕事に。佐伯市と合併後は、佐伯市観光大使として活動し平成 19 年 50 歳には佐伯市役所を退職。平成 23 年おおいだ観光特使に任命されると、高校時代に始めた落語が高じて、話の中に笑いを入れることから講演を口演として活動。ここ 10 年間では、全国各地で毎年 400 回を超える口演を行っている。(が、コロナ禍の3年間に1割まで激減) まだまだ現役、「笑って元気!」いまでも月 30 回以上の講演を目指して口演活動中。

※ 矢野氏の意向を尊重し、「講演」を「口演」と表記しています。

【主 催】

佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、  
佐賀県青少年育成県民会議

【後 援】

多久市、多久市教育委員会、佐賀新聞社、  
NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ、  
佐賀県地域婦人連絡協議会、  
佐賀県少年補導員連絡協議会、  
佐賀県保護司会連合会、佐賀県小中学校校長会

駐車場のご案内



※ JA多久中央の駐車場には  
駐車しないようお願いいたします